第2学年　　英語科　学習指導案（略案）

1　単元名　Lesson２　**My　Dream**
（**NEW　CROWN　Englih　Series ②**）　Project１　将来の夢を紹介しよう

2　単元（題材）の目標

・不定詞の３用法を理解し、それらを含む英文を聞いたり、読んだりして内容をとらえることができる。【知識】

・不定詞の３用法を理解し、それらを含む英文を伝え合ったり、正しく記述したりすることができる。【技能】

・「あなたの将来の夢を教えてほしい」というＡＬＴエミリー先生の要望に応えるために、現時点における自分の夢について、音声・内容構成面を工夫し、聞き手にわかりやすく伝えようとしている。【思考・判断・表現】

・自分の将来の夢について、その理由を具体的に述べ、他からのアドバイスを意識して活かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

3　単元（題材）の指導計画（計１３時間）

第１次　単元の目指すゴール(P29)のスピーチを提示し、ゴールを共有。（１時間）
第２次　不定詞の３用法の導入、ドリル演習・活動・運用練習（３時間）
第３次　ＧＥＴ　Ｐａｒｔ１・Ｐａｒｔ２　本文の内容理解（２時間）
第４次　ＵＳＥ　Ｒｅａｄ 本文の内容理解と自分のスピーチに活かせる表現の確認（２時間）
第５次　第１時　スピーチの構成の確認・イメージマップ（Warming-up Sheet）にスピーチの構成に必要な表現やキーワードを書き込む。
第２時　評価基準の共有・発表スライドの作成（ロイロノートのテキスト）
第３時　発表練習（班単位で、P31の手順で）
第４時　<u>少人数Ｂ組全体の前で発表　☞　本時</u>
第５時　活動の振り返り

4　本時の計画

（１）本時のねらい
少人数クラスで確認した評価基準とスピーチの相互評価を通して、聞き手にわかりやすく伝えることができる。

（２）本時のねらいを達成するための手立て
ア　教師が発表のモデルを再提示する。
イ　よいスピーチのポイント・要素を少人数クラス全体で確認する。
ウ　評価基準表（適切な速さ、抑揚・アクセント、ポーズ、表情・ジェスチャーなど）を相互評価する。

（３）本時の展開

学　習　活　動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	◎評価　●留意点
導入　（１０分） １　あいさつ ウォームアップ①	Ｔ１　① Today we are going to make a speech, My Dream in front of our class. Will you do your best? ② Whose speech do you especially want to listen to?	●英語学習に入る準備態勢を作る。 ◎質問に対して的確に応答できる。
ウォームアップ②	Ｔ２　☆ ショートスピーチ　Step１ Let's try short speech in Japanese.　① Let's try short speech in English.　② ☆ ショートスピーチ　Step２	●全体発表の前に少し練習をする。

	Let's ask a question to your partner.	●生徒から出たよい発表の要素（ポイント）はホワイトボードに記載する。
２　発表のポイントの確認	T 3　Next, let's check some points of good speech. (1) 正しい英文を正しい発音で、発表している。 (2) オーディエンスの反応を確認し、ジェスチャーやアイコンタクト、頷きなども意識している。 (3) 適度なスピードと声量、ポーズを駆使し、わかりやすい発表に努めている。	
３　スピーチと質問のペア練習	T 4　全体の前での発表の前に、スピーチの最終確認をしましょう。ペアや練習したグループで相互チェックを行っても構いません。	
展開　（35分） ４　発表	T 5　Now let's start! Please show us your best speech. The first speaker is ○○ san. ○○san, come up to front and start your speech.	
	T 6　友達のスピーチが終わったら、コメントカードに記入してください。全員の発表が終わった段階で、それぞれの発表者に友達の声として届けます。	●質問はかなり困難が予想されるので、状況によっては日本語を使用してもよいことにする。
	T 7　Thank you very much for your nice speech. ***<u>Does anyone have a question?</u>*** Please go back to your seat. Everyone, write a comment.	
	T 8　The next speaker is ●●san. ～以下同様な流れで進行させる。	
終末　（5分） ５　発表・表現技法を評価し本時の学習の振り返りをする。 あいさつ	T 9　最終の個別練習から全体発表を行った感想を振り返りを含めて記入しましょう。	●友達の発表を考察し自身の振り返りも含めて記入する。

（3）本時の評価

【知識・技能】
A：誤りのない正しい英文で話すことができる。
B：誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。

【思考・判断・表現】
A：すらすらと発表し、アイコンタクトが十分である。
B：原稿をチラ見しながらであるが顔を上げて発表している。

【主体的に学習に取り組む態度】
A：自分の考えを理由とともに詳しく述べたり、聞き手に伝わるように工夫したりしながら発表ようとしている。
B：聞き手の様子を踏まえ、顔を上げて発表しようとしている。